



2021年3月期 決算説明会

株式会社SUBARU

専務執行役員 CFO 水間 克之

2021年5月11日

サマリー

(億円)

	通期実績					通期計画	
	2020年3月期 実績(a)	2021年3月期 前回計画(b)*	2021年3月期 実績(c)	増減 (c)-(a)	増減 (c)-(b)	2022年3月期 (d)	増減 (d)-(c)
連結販売台数 (千台)	1,033.9	867.9	860.2	-173.7	-7.7	1,000.0	+139.8
生産台数 (千台)	1,030.9	823.4	809.9	-221.0	-13.5	1,030.0	+220.1
売上収益	33,441	28,500	28,302	-5,139	-198	33,000	+4,698
営業利益	2,103	1,000	1,025	-1,079	+25	2,000	+975
親会社の所有者に帰属する 当期利益	1,526	750	765	-761	+15	1,400	+635
為替レート US\$	¥109	¥106	¥106	-¥3	+¥0	¥108	+¥2

* 2021/2/5 発表値

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

2

はじめに、2021年3月期通期実績および2022年3月期通期計画の概観について、ご説明いたします。

2021年3月期実績については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響、また半導体需給逼迫の影響などによる生産台数・連結販売台数の減少により、売上収益および各段階の利益は前年に対し大きくマイナスとなりました。

2022年3月期は、主力の北米市場を中心に回復を見込み、連結販売台数は100万台を計画します。引き続き、半導体供給に関するリスクは残るものの、昨年度に対し増収・増益を見通し、2020年3月期実績レベルまで戻したいという強い想いで臨みます。

2021年3月期 実績

通期実績 連結完成車販売台数(市場別)

(千台)

	2020年3月期 通期実績(a)	2021年3月期 前回計画(b)	2021年3月期 通期実績(c)	増減 (c)-(a)	増減 (c)-(b)
登録車	101.9	85.5	81.9	-20.0	-3.6
軽自動車	23.9	20.7	19.9	-4.0	-0.8
国内合計	125.8	106.2	101.8	-24.0	-4.4
米国	701.6	613.4	611.6	-90.0	-1.8
カナダ	60.4	50.5	49.7	-10.6	-0.7
ロシア	8.7	4.4	4.5	-4.1	+0.2
欧州	37.0	14.6	13.7	-23.3	-0.9
豪州	43.1	30.4	31.4	-11.8	+1.0
中国	20.6	26.7	24.5	+3.9	-2.2
その他	36.7	21.7	22.9	-13.7	+1.2
海外合計	908.0	761.7	758.4	-149.6	-3.3
合計	1,033.9	867.9	860.2	-173.7	-7.7

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

4

それでは2021年3月期 通期実績からご説明いたします。

初めに、連結販売台数についてです。

グローバル合計で、17万3千7百台の減となる86万2百台となりました。

海外市場は、

第2 四半期以降、重点市場の北米を中心に販売が回復傾向となり、

第3 四半期は前年を上回る水準で推移いたしました。

しかし、第4 四半期は主に半導体供給課題の影響を受け、

結果として、前年に対し14万9千6百台の減となる75万8千4百台となりました。

国内市場は、

「2020-2021日本カー・オブ・ザ・イヤー」を受賞した新型レヴォーグが販売に寄与しましたが、上期のコロナ影響や商品の切り替え時期の影響に加え、

半導体供給逼迫の影響により、

前年に対し2万4千台の減となる10万1千8百台となりました。

通期実績 連結完成車販売台数・生産台数

(千台)

	2020年3月期 通期実績(a)	2021年3月期 前回計画(b)	2021年3月期 通期実績(c)	増減 (c)-(a)	増減 (c)-(b)
連結完成車販売台数 合計	1,033.9	867.9	860.2	-173.7	-7.7
米国生産	367.3	303.7	285.2	-82.1	-18.5
国内生産	663.6	519.7	524.7	-138.9	+5.0
生産台数* 合計	1,030.9	823.4	809.9	-221.0	-13.5

*トヨタ向け86の台数を含む

次に生産台数についてです。

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、
年度初から国内の群馬製作所および米国生産拠点のSIAにおいて、
生産を一時停止しました。
5月上旬に操業を再開しましたが、
サプライチェーン及び販売活動への影響が続いたことから、生産量の調整を行いました。

第2四半期以降は北米市場の在庫水準も適正レベルに戻すべく、
一時はほぼ正常レベルで操業してきましたが、
第3四半期後半からの米国生産用・部品の輸送遅延や
第4四半期からの半導体需給逼迫による生産調整などにより、
生産台数合計は、前年に対し22万1千台の減となる80万9千9百台となりました。

通期実績 連結業績

(億円)

	2020年3月期 通期実績(a)	2021年3月期 前回計画(b)	2021年3月期 通期実績(c)	増減 (c)-(a)	増減 (c)-(b)
売上収益	33,441	28,500	28,302	-5,139	-198
国内	5,727	5,115	4,983	-743	-132
海外	27,714	23,385	23,319	-4,396	-66
営業利益	2,103	1,000	1,025	-1,079	+25
税引前利益	2,077	1,090	1,140	-937	+50
親会社の所有者に帰属する 当期利益	1,526	750	765	-761	+15
為替レート US\$	¥109	¥106	¥106	-¥3	+¥0
EURO	¥121	¥123	¥123	+¥2	+¥1
CAN\$	¥82	¥80	¥80	-¥3	+¥0

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

6

続いて、連結業績です。

売上収益は、

自動車販売台数の減少などによる売上構成差等の悪化 -4,055億円を主因とし、前年比5,139億円の減収となる2兆8千302億円となりました。

営業利益は、諸経費等の削減を進めましたが、

自動車販売台数の減少などによる売上構成差等の悪化を主因とし、前年比1,079億円の減益となる 1,025億円となりました。

また、税引前利益は937億円の減益となる 1,140億円、

親会社の所有者に帰属する当期利益は761億円の減益となる 765億円となりました。

前年実績対比
 通期実績 営業利益増減要因



諸経費	+713	売上構成差	-1,284	為替影響	-204	原価低減等	-171
製造固定費	-20	販管費	+284	保証修理費	+449	新車国内	-224
SUBARU	-51	SIA *1	+31	SUBARU	+148	新車海外	-1,387
外製型費	+1	外製型費	-4	国内ディーラー	+48	販売奨励金	+347
固定加工費	-52	固定加工費	+35	SOA *2	+70	その他	-20
		SCI *3	+16			中国元	+0
		その他	+2			仕入為替調整	+66
						未実現利益分	+41
						US \$	-298
						EURO	+5
						CAN \$	-18
						SUBARU	-76
						SIA *1	-95
						原価低減	+32
						原材料・市況等	-108
						原材料・市況等	-105

*1 SIA: Subaru of Indiana Automotive, Inc. *2 SOA: Subaru of America Inc. *3 SCI: Subaru Canada Inc.

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

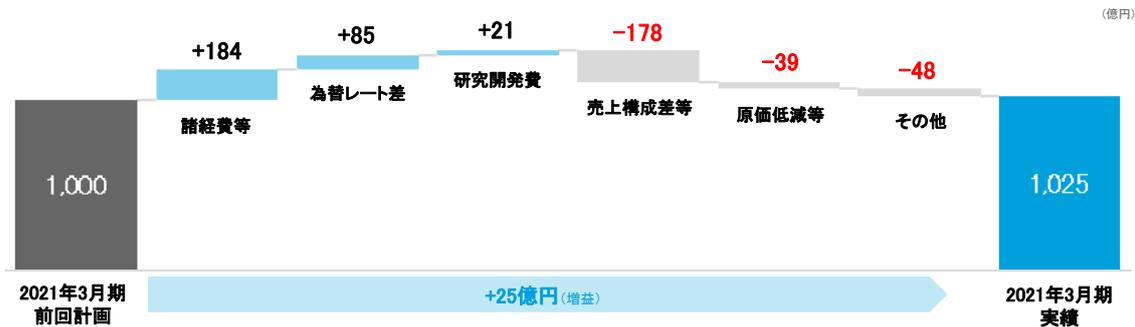
次に、前年実績対比の営業利益増減要因です。

市場措置費用を含む保証修理費の減少や販管費の圧縮、
 また主に米国市場で販売奨励金が減少したこと等が増益要因となったものの、
 国内および海外向け新車販売の減少や貴金属等の原材料高騰、
 US \$ 約3円の円高などの減益要因により、
 前年に対し1,079億円の減益となりました。

尚、米国市場向け販売奨励金については、
 前年の台当たり1,600ドルに対し、300ドル減となる1,300ドルとなり、
 奨励金総額としては330億円の削減となりました。

前回計画(2/5発表値)対比

通期実績 営業利益増減要因



諸経費	+184			為替影響	+85	売上構成差	-178	原価低減等	-39				
製造固定費	+49	販管費	+85	保証修理費	+50	US \$	+8	新車国内	-53	SUBARU	-23	SIA *1	-16
SUBARU	+12	SIA *1	+37	SUBARU	+19	EURO	+7	新車海外	-177	原価低減	-13	原価低減	+2
外製型費	-1	外製型費	+2	国内ディーラー	+6	CAN \$	+3	販売奨励金	+75	原材料・市況等	-10	原材料・市況等	-18
固定加工費	+13	固定加工費	+35	SOA *2	-6	中国元	+1	その他	-23				
		SCI *3	+5	仕入為替調整	+34								
		その他	+61	未実現利益分	+32								

*1 SIA: Subaru of Indiana Automotive, Inc. *2 SOA: Subaru of America Inc. *3 SCI: Subaru Canada Inc.

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

次に、前回計画値からの営業利益増減要因です。

減産に伴う販売台数減により売上構成差が悪化し、
 また原材料・市況の高騰が減益要因となりましたが、
 販管費や販売奨励金の圧縮、保証修理費の減少などにより、
 前回計画に対し25億円の改善となりました。

キャッシュフロー / 手元資金状況

(億円)

	2020年3月期 通期実績	2021年3月期 通期実績	
営業活動によるCF	2,101	2,894	
投資活動によるCF	-258	-2,722	
フリーCF	1,843	172	
財務活動によるCF	-158	140	
	2020年3月末	2021年3月末	増減
現金及び現金同等物 期末残高	8,590	9,073	+484
有利子負債 期末残高 *	2,392	3,339	+947
ネットキャッシュ	6,198	5,734	-463

*リース負債は上記の実績に含んでおりません。

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

9

次にキャッシュフローおよび手元資金の状況です。

フリーキャッシュフローはプラス172億円となりました。

現金及び現金同等物の期末残高は、前期末に対し484億円増の9,073億円、有利子負債残高は、資金調達により前期末に対し947億円増の3,339億円となりました。

その結果、ネットキャッシュは前期末に対し463億円減の5,734億円となりました。

尚、生産調整等の影響により、2021年3月末以降の足元の資金は減少を見込んでいます。

設備投資・減価償却費・研究開発支出

(億円)

	2020年3月期 通期実績(a)	2021年3月期 前回計画(b)	2021年3月期 通期実績(c)	増減 (c)-(a)	増減 (c)-(b)
設備投資 *1	1,260	900	862	-398	-38
減価償却費 *1	961	1,000	950	-11	-50
研究開発支出 *2	1,187	1,000	1,016	-171	+16

*1 リース取引および無形資産に係る設備投資、減価償却費は上記の実績に含んでおりません。

*2 報告期間中に発生した研究開発活動に係る支出額を記載。
尚、IFRSでは当該支出のうち資産性の認められる一部の支出を無形資産として計上し、見積耐用年数に基づき償却するため、連結損益計算書上の「研究開発費」と異なります。(日本基準における連結損益計算書上の研究開発費と一致)

設備投資などの実績については、ご覧の通りです。

設備投資の発生が前年に比べて少なくなっていますが、
新型コロナウイルス感染症の影響に備えて統制したことや発生時期の偏りによるものです。

2022年3月期 見通し

通期計画 連結業績

(億円)

	2021年3月期 通期実績	2022年3月期 通期計画	増減
連結販売台数 (千台)	860.2	1,000.0	+139.8
生産台数 * (千台)	809.9	1,030.0	+220.1
売上収益	28,302	33,000	+4,698
営業利益	1,025	2,000	+975
税引前利益	1,140	2,030	+890
親会社の所有者に帰属する 当期利益	765	1,400	+635
為替レート US\$	¥106	¥108	+¥2
EURO	¥123	¥128	+¥5
CAN\$	¥80	¥83	+¥3

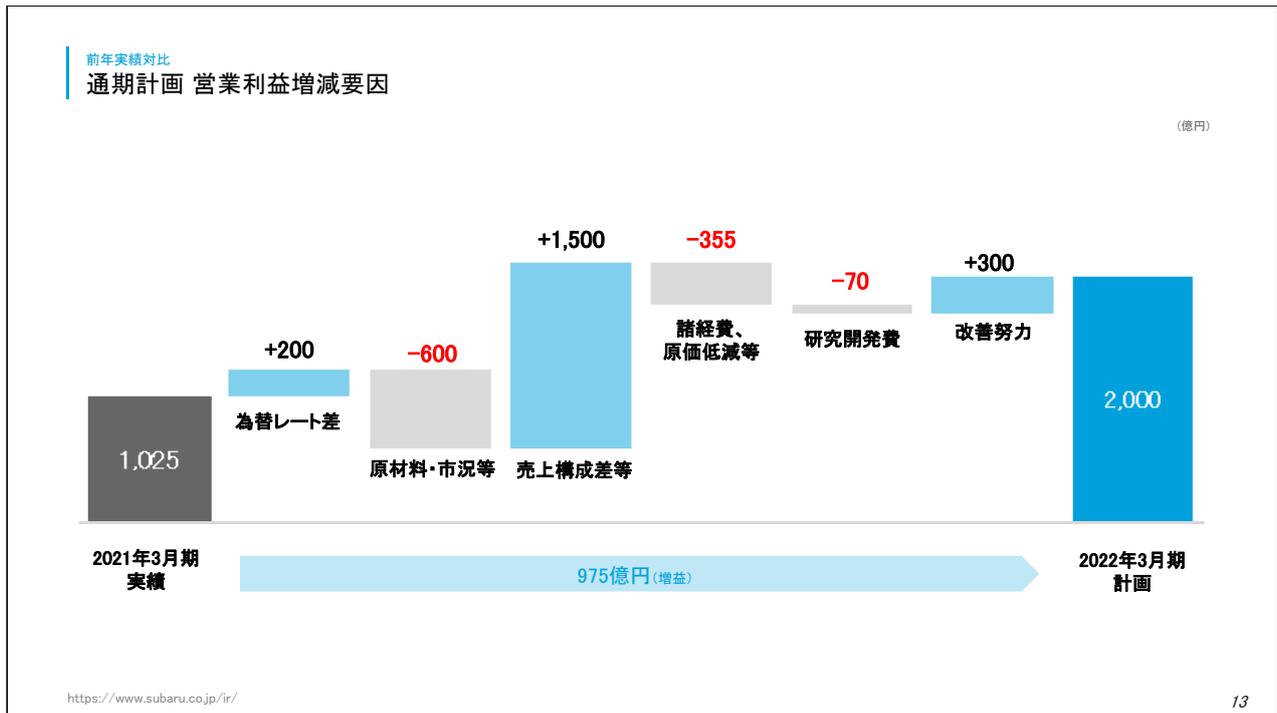
* トヨタ向け86の台数を含む

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

12

続いて、2022年3月期 通期計画についてです。

半導体供給に関するリスクは続くものの、需要面は力強さを感じており、
主力の北米市場を中心に回復を見込み、
連結販売台数100万台、
生産台数103万台、
売上収益は3兆3,000億円、
営業利益は2,000億円、
税引前利益は2,030億円、
親会社の所有者に帰属する当期利益は1,400億円を計画します。



次に、通期計画の前年実績対比の営業利益増減要因です。

外部環境要因として、

為替レート差による増益 +200億円、

貴金属価格の高騰などによる原材料・市況の悪化 -600億円となる見通しです。

尚、為替レート差の内、USDドルが約2円の円安により、約+200億円です。

売上構成差等については、半導体供給リスクへの懸念は続くものの、

北米市場を中心とした販売回復を見込んで+1,500億円、

販売台数増に伴う諸経費等の増加や原価低減活動、その他を含めて-355億円、

研究開発費の増加による-70億円を見通しております。

不確定要素が多く厳しい状況ではありますが、以上の見通しに加え、

インセンティブや諸経費などの項目を中心に、300億円の更なる改善を織り込み、

2022年3月期 通期営業利益は、前年に対し975億円の増益となる2,000億円を狙います。

設備投資・減価償却費・研究開発支出

(億円)

	2021年3月期 通期実績	2022年3月期 通期計画	増減
設備投資 * 1	862	1,000	+138
減価償却費 * 1	950	1,000	+50
研究開発支出 * 2	1,016	1,200	+184

* 1 リース取引および無形資産に係る設備投資、減価償却費は上記の実績に含んでおりません。

* 2 報告期間中に発生した研究開発活動に係る支出額を記載。
尚、IFRSでは当該支出のうち資産性の認められる一部の支出を無形資産として計上し、見積耐用年数に基づき償却するため、連結損益計算書上の「研究開発費」と異なります。(日本基準における連結損益計算書上の研究開発費と一致)

設備投資・減価償却費・研究開発支出については、ご覧の通りです。

設備投資ならびに研究開発支出に関しては、
後ほど、中期経営ビジョンの進捗報告の中でもご説明いたしますが、
必要な投資・研究開発活動を継続して進めていく一方で、
効率化を図りながら取り組んでいく考えです。

株主還元

(円)

▶ 一株当たり配当金

	2021年3月期	2022年3月期 予想*
第2四半期末	28	28
期末	28	28
年間合計	56	56
配当性向	56.1%	30.7%

* 配当性向: 前期株式数を基に試算

最後に、株主還元についてです。

ご説明してきました通り、
新型コロナウイルス感染拡大や半導体不足などによる当社業績への影響は非常に大きく、
また、未だ先行き不透明な事業環境が続いていること、
今後の資金需要などを含めて総合的に検討しました結果、
2021年3月期の1株当たり年間配当金は、直近の配当予想の通り56円を予定します。

また、2022年3月期の1株当たり年間配当金は56円を予想します。

次ページ以降は、セグメント情報等の参考情報となります。

以上で2021年3月期 年度決算の説明を終わります。ありがとうございました。

ご参考(1)

- セグメント情報(事業別 / 所在地別)
- 海外売上収益
- 連結財政状態計算書
- 単独販売台数
- 米国子会社業績
- 2021年3月期通期実績(四半期別)
- 生産台数 / 小売台数 推移

通期実績 事業セグメント別業績

(億円)

	売上収益			営業利益		
	2020年3月期 通期実績	2021年3月期 通期実績	増減	2020年3月期 通期実績	2021年3月期 通期実績	増減
自動車	31,939	27,375	-4,564	2,003	1,091	-912
航空宇宙	1,421	877	-544	51	-98	-149
その他	80	50	-30	36	31	-5
消去・全社				14	1	-13
合計	33,441	28,302	-5,139	2,103	1,025	-1,079

通期実績 地域別セグメント業績

(億円)

	売上収益			営業利益		
	2020年3月期 通期実績	2021年3月期 通期実績	増減	2020年3月期 通期実績	2021年3月期 通期実績	増減
日本	8,707	6,752	-1,955	1,027	-356	-1,383
北米	23,118	20,302	-2,816	1,151	1,027	-124
その他	1,616	1,247	-369	21	31	+10
消去・全社				-95	322	+417
合計	33,441	28,302	-5,139	2,103	1,025	-1,079

通期実績 海外売上収益

(億円)

	2020年3月期 通期実績	2021年3月期 通期実績	増減
北米	24,131	20,830	-3,301
欧州	1,162	536	-627
アジア	1,064	940	-123
その他	1,357	1,012	-345
合計	27,714	23,319	-4,396

連結財政状態計算書

(億円)

	2020年3月末	2021年3月末	増減
資産合計	32,939	34,117	+1,178
流動資産	19,788	19,828	+41
非流動資産	13,151	14,289	+1,137
負債合計	15,738	16,253	+515
有利子負債	2,392	3,339	+947
資本合計	17,201	17,864	+663
利益剰余金	13,972	14,353	+381
親会社の所有する帰属持分	17,129	17,777	+649
親会社の所有者に帰属する持分比率	52.0%	52.1%	-
D/Eレシオ	0.14	0.19	-

通期実績 単独販売台数

(千台)

	2020年3月期 通期実績	2021年3月期 通期実績	増減
国内生産*	663.6	524.7	-138.9
国内売上	128.5	105.7	-22.8
登録車	103.8	84.5	-19.3
軽自動車	24.7	21.2	-3.5
輸出台数	551.2	438.8	-112.3
海外生産用部品	381.2	275.7	-105.5
単独合計売上	1,060.8	820.2	-240.6

*トヨタ向け86の台数を含む

通期実績 米国子会社業績

(Million US\$)

SOA *1	2020年3月期 通期実績	2021年3月期 通期実績	増減
売上高	19,957	18,028	-1,929
営業利益	880	966	+85
当期純利益	681	831	+150
小売販売台数(千台)	671.3	639.7	-31.6
SIA *2	2020年3月期 通期実績	2021年3月期 通期実績	増減
売上高	9,050	7,252	-1,798
営業利益	87	-42	-129
当期純利益	92	-30	-121
生産台数(千台)	367.3	285.2	-82.1

*1 SOA: Subaru of America Inc. *2 SIA: Subaru of Indiana Automotive, Inc.

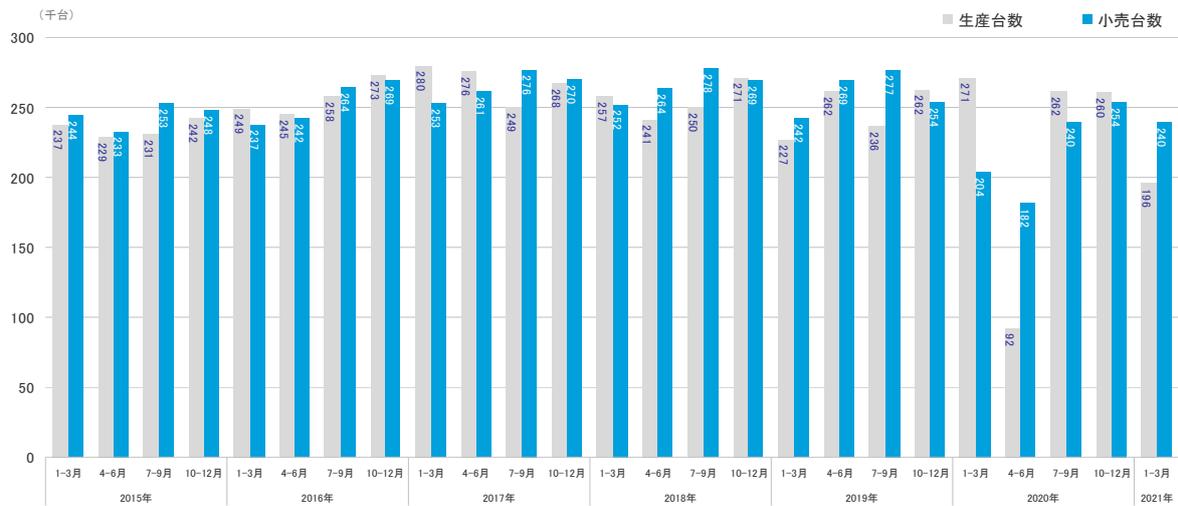
<https://www.subaru.co.jp/ir/>

2021年3月期 通期実績(四半期別)

(億円)

	2021年3月期			
	1Q実績	2Q実績	3Q実績	4Q実績
連結販売台数(千台)	133.1	230.3	267.8	229.1
生産台数(千台)	92.2	261.7	260.4	195.6
売上収益	4,570	7,614	8,564	7,554
営業利益	-157	463	676	42
当期利益	-77	314	505	23
為替レート US\$	¥107	¥107	¥105	¥104

生産台数/小売台数 推移



* 生産台数にはトヨタ向け86の台数を含む

<https://www.subaru.co.jp/ir/>



本資料に記載されている計画、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、現在入手可能な情報、予測に基づいた仮定、および判断であり、様々なリスクや不確実性を含みます。将来における当社の実際の業績は、当社を取り巻く経済情勢、需要や為替レートの変動などにより、これらと異なる結果となる場合がございます。投資に関する最終決定は、上記の点を踏まえ、投資家の皆様ご自身の判断で行われるようお願いいたします。本資料に掲載された情報に基づいて投資された結果、万一何らかの損害を被られましても、当社および各情報の提供者は一切責任を負いかねますので、併せてご了承ください。